



報告候也

昭和十八年二月四日

貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
委員長 伯爵橋本 實斐

納稅施設法案

右の決スヘキモノナリト議決セリ依テ及  
報告候也

昭和十八年二月四日

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

臨時資金調整法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及  
報矣也

昭和十八年二月四日

委員長 伯爵橋本 實斐

卷之三

普通銀行等の貯蓄銀行業務又は信託業  
務ノ兼營等ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

昭和十八年二月四日  
告別也

昭和十八年二月四日

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

銀行等ノ事務ノ簡素化ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

昭和十八年二月四日

委員長 伯爵橋本 實斐

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

戰爭死亡傷害保險法案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及  
報告候也

昭和十八年二月四日

委員長 伯爵橋本 實斐  
貴族院議長伯爵松平 賴壽殿

鹽專賣法中改正法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及  
報告候也

昭和十八年二月四日

委員長 伯爵橋本 實斐  
貴族院議長伯爵松平 賴壽殿

〔伯爵橋本實斐君演壇ニ登ル〕

○伯爵橋本實斐君 只今上程ニナリマシタ  
國民貯蓄組合法案外六件ノ特別委員會ニ於  
ケル經過並結果ヲ御報告申上ゲマス、特別  
委員會ハ五回ニ亘リ慎重審議ヲ重ネ、或時  
ハ速記ヲ止メ、或時ハ祕密會ヲ開キ、又大  
藏大臣ヨリ戰時金融ノ根本對策ヲ聽取致ス  
ナド致シマシテ、去ル二月四日、是等議案  
ヲ原案通り可決スベキモノト議決致シマシ  
タ、以下委員會ニ於ケル質疑應答ノ主ナル  
ゲマスルガ、本案ハ國民貯蓄組合ノ斡旋ニ  
依ル貯蓄ノ増加ヲ圖リ、以テ大東亞戰下ニ  
先づ國民貯蓄組合法中改正法律案ヨリ申上  
ゲマスルガ、本案ハ國民貯蓄組合ノ斡旋ニ  
ヲ申上ゲマスレバ、第一、國民貯蓄組合ノ  
斡旋ニ依ル貯蓄ニ關シテハ、元本七千圓ヲ

超エザル限り、其ノ利子、利益ニ所得稅ヲ  
免除シテ、課稅上ノ特典ヲ擴張致シタコト  
デアリマス、第二ハ、勧メ先預金ハ原則ト  
シテ國民貯蓄組合ノ斡旋ニ依リ受入ル、コ  
トニ統制致シマシテ、其ノ受入方法、資金  
ノ運用等ハ別ニ指示ヲスルコトニナッテ居リ  
マス、第三、組合構成員タル資格ヲ有スル者  
ニ對シマシテハ、必要ニ應ジ加入命令ヲ爲  
シ得ルコトト致シマシタ、第四ニハ、市町  
村單位ノ地域組合ノ組織ヲ認ムルコトデア  
リマス、又第五ニハ、組合貯蓄ノ範圍ヲ擴  
張シテ、一定外國有價證券ノ買入ヲ追加致  
シタコト等デアリマス、本策ニ關スル質疑  
ヲ綜合致シテ申上ゲマスルト、戰時下國民  
貯蓄ノ増強手段ハ、飽ク迄モ國民ノ愛國心ニ  
憇フルコトヲ本則トスベキデアル、政府モ  
之ニ關シテハ法律上ノ強制ヲ行ヘヌト屢々聲  
明シテ居ルガ、今回ノ貯蓄關係法案ノ提出  
ノ趣旨ハ何處ニ在ルカ、又貯蓄ノ獎勵モ部  
落會、町内會、隣組ニ對スルモノノ實際ヲ  
見ルト、度ノ過ギタルモノガアルヤウデア  
ル、即チ半バ強制的ノ貯蓄が最低生活費以  
上ニ喰ヒ込ンデ困難ヲ感ジテ居ル向キモ相  
當多イヤウデアル、又公債ノ購入等ノ爲ニ  
已ムヲ得ズ借入金ヲ以テ之ニ充ツルト云フ  
ヤウナ實情モアルヤウデアル、政府ニ對シ  
テハ貯蓄獎勵ノ矢ヲ、モット增產獎勵ニ依ル  
所得、其ノ他軍需產業會社等ノ社内留保金  
等ニ向ケル工夫ガ一段ト要請サレルガドウ  
デアルカ、之ニ對シテ政府當局ヨリ、戰時  
下國民貯蓄ノ増強ニ關シテハ、飽ク迄モ國

民任意ノ貯蓄心ニ根本ノ建前ヲ置キ、法律ニ依ル直接強制ノ如キハ今後ト雖モ之ヲ行ハヌ考デアル、御話ノ今回提出ノ法案ハ、個人ノ貯蓄ニ關スル熱意ヲ刺戟發動セシムルト共ニ、其ノ預貯金ヲ安全ニ確保スル趣旨ニ基クモノデアル、生産増強ニ依ル所得其ノ他、軍需工業方面ノ所得ノ貯蓄ノ增强獎勵ハ、從來特別ニ努力シ來テ居ルガ、今後トモ一層留意スル、又公債ノ隣保消化等ニハ、相當ムツカシイ問題モ一部ニハ介在スルカラ、購買力ノ浮動スルト思ハル、方面ニ注意ヲ向ケ、國民全體のニ無理、摩擦無キヨ期シタイ、唯國民ノ最低生活費云々云ノ御話モアッタガ、是ハ地方ニ依リ、職業ニ依リ、又家族ノ構成ニ依ヅテ各異ルカラ、所得幾何以下ノモノハ貯蓄ヲ要セズトイフガ如キコトハ困難デアル、本年度ノ二百三十億ノ貯蓄目標ハ、我々國民ニ取ツテ必ず爲シ遂ゲネバナラヌ義務ガアルカラ、國民各人ハ、出來ルダケ生活費ヲ切詰メテ貯蓄ニ振り向クルノ心構ガ要請セラレル、斯ウ云フ答辯ガゴザイマシタ、第二へ納稅施設法案ニ付テ御報告申上ガマス、國民ノ納稅義務ノ履行ヲ容易確實ナラシメ、併セテ納稅ニ關聯シマシテ、貯蓄ノ増嵩ヲ圖ルノ必要ガアツテ、本案が提出セラレタモノデアリマス、法案ノ骨子ヲ申上ゲマスト、第一ニ、納稅ニ關シ公共的事業ヲ行フ町内會、部落會及ビ納稅組合ヲ納稅團體トシテ法制上ノ地位ヲ與ヘタルコト、第二ニ、法人ニ對シテ當該法人ノ納付スベキ

法人税ノ納稅準備ノ爲、決算確定ノ際、一部ハ之ヲ納稅積立金ヲ爲サシメ、其ノ積立金ノ一部ハ之ヲ納稅準備預金ヲ以テ保有スルノ義務ヲ負ハシムルコトデアリマス、第三、專ラ租稅公課ノ納付ニ充ツル目的ヲ持ツ納稅準備預金ナル新種ノ預金ヲ創設シ、其ノ利子ニ免稅ノ特典ヲ與ヘル、第四ニ、租稅ノ納付ト國民貯蓄ノ増強ヲ關聯セシメタル一つノ新シイ施設トシテ、租稅ノ貯蓄納付制度ヲ創設スル、即チ所得稅、臨時利得稅ノ納稅者ガ、其ノ稅額ノ二倍、又ハ三倍ニ相當スル金額ノ貯蓄、即チ戰時納稅貯蓄ヲ爲シタル場合ニハ、當該租稅ノ納付ト同一ノ效果ヲ生ゼシメルト云フノニアリマス、次ニ質疑ノ主ナルモノヲ申上ゲマスト、先ヅ、小切手ニ依ル租稅納付制度ノ件デアリマス、即チ納稅ノ便ヲ圖リ併セテ通貨節約ニ資スル爲、小切手ヲ以テスル納稅制度ノ擴張ヲ認メテハドウデアルカ、斯ウ云フ質問デアリマス、當局ハ、本件ハ既ニ其ノ必要ヲ認めテ昭和十五年ヨリ之ヲ實施シテ參ツテ居ル、尙特定郵便局ヲシテ納稅上小切手ノ受入ハ、郵便局窓口事務ノ現狀ニ顧ミ、考慮ノ餘地ガアルカラト云フコトノ答辯ガゴザイマシタ、次ハ租稅ノ滯納状況ニ付テノ質疑デアリマス、當局ハ、近時納稅成績ハ稍、低下ノ徵ヲ示シテ居ル、其ノ原因ト見ラルベキモノハ、最近直接稅ニ付大幅ノ增稅ガアッタコト、課稅最低限ノ引下ニ依リマシテ、納稅ニ親シニナキ新規ノ納稅者ガ現出シタ

ルコト、各種統制強化、企業整備、轉廢業等ニ依リ、營業状態ニ變動ヲ生ジタル處、課稅ハ前年度ノ實績ニ依リ之ヲ爲ス爲、納稅困難ヲ生ズル次第デアル、之ガ對策トシテハ、所得ニ餘裕アル時、納稅準備ノ心掛テ涵養スルノ外ハナイト云フ答辯デアリマシタ、次ニ本法案ニ關スル質疑ト致シマシテ、一委員ヨリ、戰時納稅貯蓄ノ中、租稅ニ該當スル部分以外ヲ以テ次期以降ノ納稅ニ充當シ得ルコトト致シテハドウダ、斯ウ云フ質問デアリマシタ、之ニ對シマシテ大藏當局ハ、戰時納稅貯蓄ノ中、租稅收入トナルモノヲ除キタル部分ヲ、次期以降ノ納稅ニ充當シ得ルコトト爲スコトハ、公債ヲ以テ納稅ニ充ツルト同一ノ結果トナルノミナラズ、租稅ノ前取ナルヤノ觀念ヲ生ゼシムルコトトモナルノデ適當デハナイ、斯ウ云フ答辯デアリマス、次ニ他ノ委員ヨリ、戰時納稅貯蓄ハ、國民中ノ如何ナル階層ヲ目標認メテハドウデアルカ、斯ウ云フ質問デアリマス、當局ハ、本件ハ既ニ其ノ必要ヲ認メテ昭和十五年ヨリ之ヲ實施シテ參ツテ居ル、尙特定郵便局ヲシテ納稅上小切手ノ受入ハ、郵便局窓口事務ノ現狀ニ顧ミ、考慮ノ餘地ガアルカラト云フコトノ答辯ガゴザイマシタ、次ハ租稅ノ滯納状況ニ付テノ質疑デアリマス、當局ハ、近時納稅成績ハ稍、低下ノ徵ヲ示シテ居ル、其ノ原因ト見ラルベキモノハ、最近直接稅ニ付大幅ノ增稅ガアッタコト、課稅最低限ノ引下ニ依リマシテ、納稅貯蓄ハ、主トシテ中流階層ヲ對象トスルト云フヤウナ結果ニナル、斯ウ云フ答辯

ドウカト云フ質問ニ對シマシテハ、御尋ノ件ハ、只今研究中デアル、斯ウ云フ答辯デアリマス、次ノ法案ニ移リマシテ、臨時資金調整法中改正法律案ニ付テ申上ゲマス、此ノ改正理由ハ、大東亞戰ノ進展ニ伴ヒマシテ、國民貯蓄ノ増強、適正簡易ナル有價證券賣機構ノ確立、及び株式ノ市價安定ヲ圖ルコトニ存スルノデアリマス、法案ノ骨子ヲ申上ゲマスト、第一ニ、各種ノ新種貯蓄ヲ取扱ハシメ、新種證券ヲ發行シ得ルコト致シ、課稅上優遇ヲ圖リ、損失補償或ヘ補助金ヲ交付スル等デアリマス、第二ニ、適正簡易ニシテ安全ナル有價證券ノ賣賣機構ニ該當スル部分以外ヲ以テ次期以降ノ納稅ニ充當シ得ルコトト致シテハドウダ、斯ウ云フ質問デアリマス、第三ニ、必要ニ應ジタルコト致シ得ルコトト致シテハドウダ、斯ウ云フ質問デアリマシタ、之ニ對シマシテ大藏當局ハ、戰時納稅貯蓄ノ中、租稅收入トナルモノヲ除キタル部分ヲ、次期以降ノ納稅ニ充當シ得ルコトト爲スコトハ、公債ヲ以テ納稅ニ充ツルト同一ノ結果トナルノミナラズ、租稅ノ前取ナルヤノ觀念ヲ生ゼシムルコトトモナルノデ適當デハナイ、斯ウ云フ答辯デアリマス、次ニ他ノ委員ヨリ、戰時納稅貯蓄ハ、國民中ノ如何ナル階層ヲ目標認メテハドウデアルカ、斯ウ云フ質問デアリマス、當局ハ、本件ハ既ニ其ノ必要ヲ認メテ昭和十五年ヨリ之ヲ實施シテ參ツテ居ル、尙特定郵便局ヲシテ納稅上小切手ノ受入ハ、郵便局窓口事務ノ現狀ニ顧ミ、考慮ノ餘地ガアルカラト云フコトノ答辯ガゴザイマシタ、次ハ租稅ノ滯納状況ニ付テノ質疑デアリマス、當局ハ、近時納稅成績ハ稍、低下ノ徵ヲ示シテ居ル、其ノ原因ト見ラルベキモノハ、最近直接稅ニ付大幅ノ增稅ガアッタコト、課稅最低限ノ引下ニ依リマシテ、納稅貯蓄ハ、主トシテ中流階層ヲ對象トスルト云フヤウナ結果ニナル、斯ウ云フ答辯

ドウカト云フ質問ニ對シマシテハ、御尋ノ件ハ、只今研究中デアル、斯ウ云フ答辯デアリマス、次ノ法案ニ移リマシテ、臨時資金調整法中改正法律案ニ付テ申上ゲマス、此ノ改正理由ハ、大東亞戰ノ進展ニ伴ヒマシテ、國民貯蓄ノ増強、適正簡易ナル有價證券賣機構ノ確立、及び株式ノ市價安定ヲ圖ルコトニ存スルノデアリマス、法案ノ骨子ヲ申上ゲマスト、第一ニ、各種ノ新種貯蓄ヲ取扱ハシメ、新種證券ヲ發行シ得ルコト致シ、課稅上優遇ヲ圖リ、損失補償或ヘ補助金ヲ交付スル等デアリマス、第二ニ、適正簡易ニシテ安全ナル有價證券ノ賣賣機構ニ該當スル部分以外ヲ以テ次期以降ノ納稅ニ充當シ得ルコトト致シテハドウダ、斯ウ云フ質問デアリマス、第三ニ、必要ニ應ジタルコト致シ得ルコトト致シテハドウダ、斯ウ云フ質問デアリマシタ、之ニ對シマシテ大藏當局ハ、戰時納稅貯蓄ノ中、租稅收入トナルモノヲ除キタル部分ヲ、次期以降ノ納稅ニ充當シ得ルコトト爲スコトハ、公債ヲ以テ納稅ニ充ツルト同一ノ結果トナルノミナラズ、租稅ノ前取ナルヤノ觀念ヲ生ゼシムルコトトモナルノデ適當デハナイ、斯ウ云フ答辯デアリマス、次ニ他ノ委員ヨリ、戰時納稅貯蓄ハ、國民中ノ如何ナル階層ヲ目標認メテハドウデアルカ、斯ウ云フ質問デアリマス、當局ハ、本件ハ既ニ其ノ必要ヲ認メテ昭和十五年ヨリ之ヲ實施シテ參ツテ居ル、尙特定郵便局ヲシテ納稅上小切手ノ受入ハ、郵便局窓口事務ノ現狀ニ顧ミ、考慮ノ餘地ガアルカラト云フコトノ答辯ガゴザイマシタ、次ハ租稅ノ滯納状況ニ付テノ質疑デアリマス、當局ハ、近時納稅成績ハ稍、低下ノ徵ヲ示シテ居ル、其ノ原因ト見ラルベキモノハ、最近直接稅ニ付大幅ノ增稅ガアッタコト、課稅最低限ノ引下ニ依リマシテ、納稅貯蓄ハ、主トシテ中流階層ヲ對象トスルト云フヤウナ結果ニナル、斯ウ云フ答辯

富籤ハ、國民貯蓄思想ニ及ス影響ヲ考ヘ躊躇セザルヲ得ナイ、從ツテ第十條ノ五ノ改

正ニ依リ、貯蓄債券、報國債券以外ニ別

ニ新種ノ高額割増金附證券ノ發行ヲ認ムル

ト云フヤウナコトニ致シタイ、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、第四ニ、普通銀行等ノ貯

蓄銀行業務又ハ信託業務ノ兼營等ニ關スル法律案ニ付テ申上ゲマス、本案ハ納稅施設法案ト共ニ委員會ニ於テ最モ論議ノ重ネラ

レタル法案デアリマシテ、委員ノ中ニハ、

銀行、信託業等ニ多年ノ經驗ヲ御持チニ

ナツテ居ル方々モアリマスノデ、其ノ論議ハ

傾聽スベキモノガ多クゴザイマシタ、時局ノ要請ニ顧ミマシテ、貯蓄的預金ノ吸收ノ增

強ヲ圖ル爲ニ普通銀行等ヲシテ貯蓄銀行ノ整備デアリマス、第三ニ、必要ニ應ジタル

補助金ヲ交付スル等デアリマス、第二ニ、適

正簡易ニシテ安全ナル有價證券ノ賣賣機構

ニ該當スル部分以外ヲ以テ次期以降ノ納稅

ト致シ、課稅上優遇ヲ圖リ、損失補償或ヘ

補助金ヲ交付スル等デアリマス、第二ニ、適

正簡

化ニ依ッテ銀行資産内容ノ悪化ヲ來スガ如キコトハ絶對ニナイ、又政府ハ銀行ニ對シテモ、是等ニ對シテ深キ責任ヲ感ジテ居ル次第アル、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、次ニ本法案制定ニ依リ、結局金融機關ノ分業主義ヲ廢シ、綜合機能ヲ與ヘ、金融機關ノ一元化ヲ圖ルニアラズヤト云フ懸念デアリマス、之ニ對シマシテ當局ヨリ、此ノ制度ヲ設クルノハ、財政經濟政策上貯蓄増強、預金吸收ヲ喫緊ノ要務トスル所ヨリ、金融界ニ於テ人員、店舗等最モ活動力アル普通銀行ヲシテ總力ヲ擧ガシメムトスルコトニ基ク、技術上是等金融機關ヲ綜合シテ強力ナル金融機關ヲ作ラシメムトスルガ如キ意見ニ基テ本法案が出來テ居ルノデハナイ、斯ウ云フ答辯デアリマス、更ニ金融統制上ノ見透シトシテ近キ將來金融機關ノ國營ヲ考フルコトハナイカト云フ件デアリマス、昨年來大銀行ノ合同ガ起ツタケレドモ、是ハ當業者自發的ノ認識了解ニ基イテ起ツタモノニアル、政府ト致シテハ銀行ノ國營ヲ考ヘルヤウナコトハナイ、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、次ニ普通銀行ニ對シマシテ、本法案ノ精神ハ、兼營ノ貯蓄ハ、固有ノ信託ヲ衰微セシムル虞ハナイカ、斯ウ云フ質問ニ對シマシテ、本法案ノ精神ハ、兼營ニ依ッテ貯蓄増強ヲ重要ナ理由トスルト同時ニ、本來ノ信託ヲ活カスコトヲモ重視シテ居ル、近時銀行ガ漸次國民ノ財產管理ヲ行フコトヲ要スルガ如キハ、此ノ信託ノ方向へ伸ビテ行ク誇據デアル、此ノ意味ニ於テ銀行ノ選擇ヲ誤リサヘシナケレバ、信託業務ガ全體トシテ發達シテ行クモノトナリ、尙ニ依ッテ從來ノ大口財產管理ガ、時局ノ要請ニ依ッテ遺家族財產ノ管理、教育英信託等大衆相手ノ機能ヲ發揮サセテ行ク見込デアル、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、次ノ法案ニ移リマシテ銀行等ノ事務ノ簡素化ニ關スル法律案ニ付テ申上ダマス、本案ハ銀行其ノ他金融機關ノ事業年度ヲ政府會計年度ト合致致サセル等ニ依リマシテ、付テノ質問ガアリマシタガ、政府當局ハ、本

將來ト雖モ專營トシテ存續セシムル方針デアル、尙此ノ場合ノ兼營ニハ強制セザルコト勿論デアル、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、又本法他ノ質疑ハ、將來ノ貯蓄銀行新規設立ヲ認ムルカ、斯ウ云フ問ニ對シマシテ、產業經濟一般ガ、企業合同等ヲ行ハル、形勢ニ進ムカラシテ、金融機關モ自然之ニ伴ヒテ其ノ數ハ整理合同ノ餘地ハアルケレドモ、增設スル餘地ハ乏シキ傾向ニアル、從テ新タル免許ハ致サナイ方針デアル、斯ウ云フノデアリマス、次ニ本法施行後多年地方ニ於テ經營シタル貯蓄銀行ノ根柢ヲ搖ガスヤウナコトハナイグラウカ、斯ウ云フ懸念ニ對シマシテ當局ハ、是ハ慎重ニ考慮シテ、兼營ノ貯蓄銀行業務ガ専門ノ貯蓄銀行業務ヲ妨ゲザルガ如キモノニ制限スルコトニ依ッテ、其ノ專門ノ貯蓄ノ特色ヲ一層發揮セシムルヤウニ注意スル、又本法附則ニ於テ、貯蓄銀行ノ力ヲ増ス爲ニ、資金運用制限ヲ緩和シ、或ハ國庫ノ貯蓄有率ヲ減少シタル等ガ是デアルト云フ答辯デアリマシタ、次ノ問題ハ、貯蓄銀行ノ役員ハ法律上特別ノ責任アリト考フルル方針如何、尙此ノ場合兼營ハ當事者ノ認識了解ヲ基礎トスベキデアルカドウカ、斯ウ云フ質問ニ對シマシテ、本法案ノ精神ハ、成ルベク國民經濟的ニ能率良ク貯蓄ヲ吸收スル建前デアルカラ、大都會等ニ於テ十分獨立シテ貯蓄業務其ノ他ガ實行シ得ル能力ヲ備ヘ、且之ヲ他ニ合併スルヨリモ、獨立サセル方ガ、全體的ニ能率上宜シキモノハ、

發達ノ熱意ヲ要スルカラシテ、此ノ資格ノ十全備ハレル普通銀行ヲシテ兼營セシムル方針デアル、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、又本法施行ノ曉ヘ、信託ノ合併ヲ促進スル氣運ヲ醸成スルノデハナイカ、斯ウ云フ質問ニ對シマシテ、信託ノ合併ガ、信託機能全體トシテ昂揚セラル、場合ハ、銀行合併ノ一般ノ整理合同ノ餘地ハアルケレドモ、増設スルモ、實情ハ、信託會社ニハ大體親銀行ガアツテ、其ノ資本系統ノ役員ガ存在シテ居ルカラシテ、親銀行ノ合併ガナイ限り、事實上ハ實現シナイモノト考ヘル、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、次ニ普通銀行ノ信託業務兼營ハ、固有ノ信託ヲ衰微セシムル虞ハナイカ、斯ウ云フ質問ニ對シマシテ、本法案ノ精神ハ、兼營ニ依ッテ貯蓄増強ヲ重要ナ理由トスルト同時ニ、本來ノ信託ヲ活カスコトヲモ重視シテ居ル、近時銀行ガ漸次國民ノ財產管理ヲ行フコトヲ要スルガ如キハ、此ノ信託ノ方向へ伸ビテ行ク誇據デアル、此ノ意味ニ於テ銀行ノ選擇ヲ誤リサヘシナケレバ、信託業務ガ全體トシテ發達シテ行クモノトナリ、尙ニ依ッテ從來ノ大口財產管理ガ、時局ノ要請ニ依ッテ遺家族財產ノ管理、教育英信託等大衆相手ノ機能ヲ發揮サセテ行ク見込デアル、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、次ノ法案ニ移リマシテ銀行等ノ事務ノ簡素化ニ關スル法律案ニ付テ申上ダマス、云フヤウナコトニナッテ居リマス、本案ニ對シマシテハ、先づ保険會社指定ノ範圍ハ如何、又第一條ノ「之ニ關聯アル事件」ノ例如何、第三ニ、本保険ノ保険料ハ生命保険料ニ比シテ著シク低率デアルト思フガドウダ、四番目ニ、保険金額ノ限度並ニ其ノ限度ノ根據等ニ

財政及ビ金融ノ圓滑ナル運營ニ資スルガ爲、銀行法等ニ改正ヲ加ヘタノガ提案ノ趣旨デアリマス、委員會ニ於テモ殆ド質問ガゴザリマシタ、又信託業務ヲ兼營セシムル方針デアルカト云フ問ニ對シマシテ、本件ハ此ノ信託業務ハ特殊性ニ富ミ資力大ニシテ業務金融機關ノ事務簡素化ヲ圖リ、戰時下國家

保險ノ普及ヲ圖ル爲、生命保險會社ハ全部、損害保險會社ニ付テモ、再保險又ハ汽罐保険專門ノモノノ外ハ全部、之ヲ指定スル積リデアル、又御尋ノ事例トシテハ、空襲ニ伴フ火災、消防、避難、其ノ他混亂、戰鬪ニ伴フ軍事上ノ行動措置、又ハ行政上ノ措置等ガ此ノ例ニナル、次ハ著シク此ノ保險料ハ低イノデアル、即チ生命保險料ハ、金額千圓ニ付テ三十五圓カラ四十圓見當デアルノニ、本保險ハ、帝國內ハ千圓ニ付テ三圓、帝國外ニ於テハ千圓ニ付テ十圓程度ニスル、又保險金額ハ五千圓ヲ限度ト致ス、大體是ハ國民生活ノ水準等ヲ考ヘテ決定シタノデアル、此ノ五千圓ハ他ノ制度ニ於テモ之ヲ採用ルヤウデアル、即チ戰時災害保護法、防空從事者扶助令等ニ依ル補償、軍人ノ戰死傷ニ對スル給與等ハ、大體五千圓ヲ採用テヲ國營トスベキモノト考ヘルガドウカト云フ質問ニ對シマシテハ、本保險制度ノ普及上ノ便宜カラ考ヘテモ、現在相當普及セル生命保險會社等ヲ指定スル方ガ得策デアルト考ヘルカラ、差當リ國營ノ考ヘナイ、斯ウ云フ答辯デアリマス、最後ニ鹽專賣法中改正法律案ニ付ノ骨子ト致シマシテ、鹹水用途ノ制限ヲ緩テ申上ゲマス、改正ノ理由ト致シマシテ、鹽生産者ニ安定ニ資セムガ爲デアリマス、法案ケル、鹽製造廢止ニ政府ノ許可ヲ受ケシム、鹽製造業者等ヲ共同活動ヲ促進セシム、鹽生

產増強ヲ圖ル爲、團體機構ヲ確立スル、斯  
ウ云フコトデアリマス、本案ニ關シマシテ  
ハ、一委員ヨリ、今般ノ改正ニ即應シテ、  
鹽業者ニ於テモ生産ヲ確保スベキコトニ關  
シ、政府ハ方途ヲ講ズベキモノト考フルガ  
所見如何、鹽生產ノ激減シタルガ如キ場合  
ニ於テ、鹽製造業者ニ對スル救濟策ハドウ  
デアルカト云フ質問ニ對シマシテ、鹽ノ生  
產確保ニ付テハ、別途國家總動員法關係ノ  
勅令ニ基イテ生産命令ヲ發シ得ルコトニナ  
ル、又鹽生產ノ激減シタル場合ニハ、改正  
案第十七條ノ二ノ運用ニ依シテ之ヲ救濟ス  
ルコトニナッテ居ルト云フ答辯デアリマス、  
尙委員會ニ於キマシテハ速記ヲ止メマシテ、  
農村等ニ於ケル鹽不足ノ實情ニ關シ、委員  
ト當局トノ間ニ熱心ナル問答ガ交換セラレ  
マシタ、又祕密會ヲ開キマシテ、鹽需給ニ  
關シ當局ノ説明ヲ聽取致シマシタコトヲ茲  
ニ併セテ御報告申上ゲマス、最後ニ一委員  
ノ質問ニ對シマシテ、大藏大臣ヨリ、戰時金  
融根本對策ニ付キテ御所見ヲ伺ヒマシタル  
處ガゴザイマスカラ、簡單ニ之ヲ申述ベマス、  
戰時金融對策ノ根本トシテハ、戰爭ヲ勝ツ爲ニ  
ハ、其ノ必要ナル資金ハ必ズ之ヲ調達ス  
ル、此ノ戰爭資金ノ調達方法トシテハ、經  
濟秩序ノ維持ヲ第一トスルコト、又戰爭資  
金ニハ自ラ其ノ限度ガアルト云フコトヲ考  
ヘナケレバナラヌ、必要ナル金ヲ作ルコト  
ハ、其ノ反面不必要ナル金ヲ支出シナイコ  
トデアル、資金ノ限度ハ國家總生產力ヲ考  
ヘナケレババイカヌ、又限度内ノ配分ヲ行フ

コトデアル、此ノ配分トハ國家ノ直接用ノモノ、民間ノ戰時生産力擴充資金ニ充ツルモノ、及ビ國民消費資金等ニ分ツコトガ出来ル、國家活動資金ハ租稅及公債ニ依ル、租稅ハ生産力ヲ破ラズ、國民生活ガ維持シ得ル限度ニ止メタイ、租稅以外ハ國民ノ貯蓄ニ依リ集積シタル金ヲ國家ノ生産力ノ爲ニ必要トスルモノニ支出スル、不用資金ハ流出セザルコトヲ專念トル、租稅ハ國民貯蓄ノ増強ニ俟ツ、從テ根本的ニハ國民ノ自覺ニ俟ツコトガ非常ニ多イ、戰時下ニ於テハ殊更經濟秩序ガ肝要デアル、生産力擴充ヲ極端ニスレバ、他ニ害ヲ及スコトトナル、資力ノ收拾ト共ニ秩序ヲ要スルノデアル、是ニハ物價對策、金利對策等ニハ注意ヲシナケレバ破綻ヲ生ズル、金利ノ方面ハ變動サセナイ、現下ノ情勢ニ於テハ外國ノ爲替ハ其ノ作用ヲ爲サナイ、唯心配ナノハ株式市場ニアル、戰時惡性「インフレーション」ヲ戒メルコトガ第一デアル、之ガ爲ニ日本證券取引所法ノ制定ヲ今期議會ニ提出シタ、斯ウ云フコトデアリマス、斯クテ質疑ヲ終リマシテ、討論ニ入りマシタル處アリ、又他ノ一委員ハ、是等各案ニ賛成ヲ致ス者デアルケレドモ、唯、是等ノ中、納稅施設法案ニ付キマシテ、其ノ第四章、即チ第十七條乃至第二十條ニ關シテハ、「國民ガ租稅ノ納付トシテ考ヘ貯蓄シタルモノガ、後年ニナツテ公債トシテ返還セラレ

ルコトハ、國民納稅義務ノ觀念ニ混淆ヲ生ズルモノデハナイカ、又納稅額ニ二倍シタル戰時納稅貯蓄金ノ殘餘額ハ之ヲ次期ノ納稅ニ、或ハ更ニ次年度ノ納稅ニ充當シ、更ニ所得稅以外ノ相續稅等ニモ振替ヘ得レバ、國民ノ納稅上ノ便宜ガ大アルトノ建設的ナ意見ノ開陳ガゴザイマシタ、終ツテ採決ヲ致シマシタル處、全會一致ヲ以テ是等七件ノ法律案ハ、原案通り可決スベキモノナリト決定致シマシタ、此ノ段御報告ヲ申上ヌマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 別ニ御發言モナケレバ、七案ノ採決ヲ致シマス、七案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌ力

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第一讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌ力

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 七案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ開題ニ供シマス、七案全部、委員長ノ報告通リテ御異議ハゴザイマセヌ力

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ヘゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十八年二月四日

委員長 伯爵黒木 三次

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

○議長(伯爵松平頼壽君) 七案ノ第三讀會ヲ開キマス、七案全部、第二讀會ノ決議通り御異議ヘゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 七案ノ第三讀會ヲ開キマス、七案全部、第二讀會ノ決議通り御異議ヘゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 日程第八、商工經濟會法案、日程第九、商工組合法案、日程第十、商工組合中央金庫法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、是等ノ三案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(伯爵松平頼壽君) 日程第八、商工經濟會法案、日程第九、商工組合法案、日程第十、商工組合中央金庫法中改正法律案、商工組合中央金庫法中改正法律案、是等ノ三案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十八年二月四日

委員長 伯爵黒木 三次

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

○議長(伯爵黒木三次君演壇ニ登ル)

〔伯爵黒木三次君演壇ニ登ル〕

○伯爵黒木三次君 只今議題ト相成リマン

タル商工經濟會法案外二件ヲ付託セラレマシタル特別委員會ノ經過竝ニ其ノ結果ヲ御報告申上ダマス、特別委員會ハ去ル一月三十日、二月一日、二日、三日、四日ト、五日間ニ瓦リ慎重審議ヲ致シ、中、速記ヲ中止

シテ質疑ヲ進ムルコト一回、政府當局ノ退

席ヲ求メマシテ懇談ヲナシ、漸ク全委員ノ

メマス、委員長黒木伯爵

意見ノ一致ヲ見マシタノデ、去ル四日午後、

討論ニ入り、表決ヲ致シマシタル處、以上

三法案トモ原案通り可決スベキモノナリト

決議致シマシタ次第アリマス、是ヨリ委員會ノ經過狀況ニ付申上ダマス、三法案ノ

達ヲ圖ルニアリマシタルガ故ニ、其ノ役員

ノ任免ハ當事者ノ意思ニ任サレテ居タノニ

反シ、商工經濟會ノ事業ハ總テ行政官廳ト表裏一體ノ關係ニ於テ地方產業經濟ニ關スル行政ニ協力セシムルヲ主眼トスル故ニ、

ト信ジマスガ故ニ、茲ニ申上ダタイト思ヒ

マス、第一ニ、商工經濟會法案ハ從來ノ商工會議所ヲ廢止致シマシテ、新タニ商工經濟會ヲ設ケムトスルモノデアリマス、即チ

從來ノ商工會議所ハ、單ニ商工業ノ改善發

達ヲ圖ルコトヲ其ノ目的ト致シテ居マシタ

ガ、此ノ商工經濟會ハ、地域的綜合產業經

濟團體トシテ地方產業經濟ニ關スル行政ニ對スル協力ヲ主眼トシタル產業行政ノ協力

機關デアリマスルガ故ニ、行政區劃ニ依リ

道府縣ヲ其ノ區域ト致シマスガ、從來ノ商

工會議所ハ市又ハ町ノ範圍ヲ區域ト致シタ

ルニ對シ、其ノ地區ハ擴大サレタノデアリ

マス、又商工會議所ノ構成員ハ、一定ノ國

稅等、一定額ヲ納ムル者ヲ其ノ議員選舉權者トシテ、是等ノ者ノ選舉シタル議員ヲ中

心ニ事業ヲ行ツテ來タノデアリマスガ、商工

經濟會ハ、地方產業行政ニ協力セシメ、一

般產業間ノ連絡ヲ圖ルヲ以テ各種產業ヲ營

ムモノノ中ヨリ其ノ構成員タル資格ヲ有ス

ル者ヲ行政官廳ニ於テ指定シ、其ノ者ハ當然加入トシタノデアリマス、從シテ主務大臣

ノ命令ニ依リ之ヲ全國ニ設立スルコトト政

シマシタ、此ノ點從來ノ任意設立タル商工

會議所ト大ナル逕庭ガアル次第アリマス、

商工會議所ノ事業ハ、單ニ商工業ノ改善發

達ヲ圖ルニアリマシタルガ故ニ、其ノ役員

ノ任免ハ當事者ノ意思ニ任サレテ居タノニ

反シ、商工經濟會ノ事業ハ總テ行政官廳ト表裏一體ノ關係ニ於テ地方產業經濟ニ關スル行政ニ協力セシムルヲ主眼トスル故ニ、

ト信ジマスガ故ニ、茲ニ申上ダタイト思ヒ

マス、第一ニ、商工經濟會法案ハ從來ノ商工

會議所ヲ廢止致シマシテ、新タニ商工經濟會ヲ設ケムトスルモノデアリマス、即チ

從來ノ商工會議所ハ、單ニ商工業ノ改善發

達ヲ圖ルニアリマシタルガ故ニ、其ノ役員

ノ任免又ハ承認制度ヲ採ツタノデアリマス、

又商工經濟會法案ニハ、支部ヲ設クル規定ヲ設ケマシタガ、是ハ必要ナル地ニ強力ナ

ル支部ヲ設ケ、下部組織ノ整備ヲ圖ラムトスル趣旨デアリマス、第一ニ、商工組合法案ハ、商工鑄業ノ總力ヲ結集シ、其ノ能率ヲ

最高度ニ發揮スルコトヲ目途トシ、其ノ統制運營ヲ圖ル組織機構ヲ整備確立セムトス

ルモノデアリマス、即チ統制組合、施設組合ノ商工組合並ニ商工組合中央會ヲ設立セムトスルモノデアリマス、初メノ統制組合

ハ、商工鑄業部門ニ於ケル統制團體デアリマス、義ニ重要產業團體令ニ基キ、重要產

業部門ニ於ケル統制團體トシテ、統制會ノ上部統制機構ハ略、整備致シマシタガ、一

般ノ商工業部門ニ於テハ、商業組合、工業組

合、同業組合ガアリマスガ、是等ハ遠ク過

去ニ於テ創設セラレマシタガ、一般ノ

統制經濟下ニ於ケル統制組織トシテ幾多缺點

ガアリマス、例ヘバ總會ヲ中心トスル會議制ノ

如キ、國家意思ヲ敏速ニ且の確ニ滲透セシムルニ缺點ガアリマス、右諸組合ノ外、統制會ノ下

部組織トシテ重要產業團體令ニ依ル各統制組

合ガアリマスルガ、現行ノ統制組合ハ、其ノ事業ガ狹義ノ統制事業ニ限ラル、結果、一般中小企業ノ統制ニ適セザル所アル故、行ノ商業組合、工業組合ハ、商工分立ノ原則ニ立チマスガ故ニ、兩者對立摩擦ヲ惹起スル虞ガアルノデアリマス、カルガ故ニ、必要ニ應ジ商工一體ノ組合ヲモ設立ノ途ヲ開クヲ適當トシ、現行ノ統制組合、工業組合、商業組合、同業組合ノ制度ノ長ヲ採リ短ヲ補ツテ新統制組合制度ヲ創設セムトルノデアリマス、次ノ施設組合ハ、中小企業ノ共同經營ノ組織デアリマス、現下ノ生産増強、配給ノ適正ノ爲、企業整理ヲ能率増強ヲ期シ、アルガ、一商中小企リマスルノデ、是等中小企業ヲ結合シ、共同經營ヲ行ハシメ、以テ中小經營ノ長ヲ採リ短ヲ補フ組合ノ存在モ亦必要トナリマシタ、即チ本法ニ依リ任意加入性ノ純然タルノ圖ル中央機關デアリマシテ、其ノ事業ハ、商工組合ノ經營、實務ノ指導、其ノ中小企業ニ關スル調査研究ニ限リマシテ、又總統制ニハ關與シナイ建前デアリマス、又總テ本法ニ依リ既存組合ガ新組合ニ改組セラル、ニ當リマシテハ、成ルベク簡易ナル方法ニ依ルヤウ諸種ノ規定ヲ設ケルト共ニ、

業界ニ無用ノ混亂ヲ生ゼシマニイヤウ、特ニ留意スルトノコトデアリマシタ、扱商工組合中央金庫法中改正法律案ハ、設立當初ハ所屬組合ガ千六百餘デ、貸出残高モ三百餘萬圓デアリマシタガ、昨年末ハ組合數約七千、貸出残高一億圓ヲ突破ノ状況ヲ呈シマシタ、又商工債券ニ付テモ、昨年末發行高ガ約一億一千萬圓ニ達シマシテ、約三千萬圓ノ發行餘力ヲ殘スニ過ギナイ状況トナリマシタ、又今回本法ノ改正ニ依リ、從來ノ組合ヲ改組設立シタル會社、其ノ他統制ノ必要上設立シタル會社ニ對シマシテモ融通スルコトニナリマシタノデ、資本金ヲ千四百萬圓増加シ、政府ヨリ一千萬圓、組合ヨリ四百萬圓ヲ出資セシメムトスル次第デアリマス、故ニ合計三千萬圓ノ資本ニナル譯デアリマス、近時産業整備ノ必要上、組合ヲ改組シ、有限會社、食糧營團等ノ別個ノ形態ニ移行スルモノニ對シマシテモ、貸付ノ繼續ヲ認メルト共ニ、商工組合中央金庫ニ所屬セザル組合、又ハ聯合會ヲ改組シタル會社、其ノ他設立ノ趣旨、組織者等カラ見テ、之ニ準ズベキ會社ニ對シテモ、餘モノデアリマス、是等ガ其ノ主ナ點デゴザイマス、扱質疑ノ焦點ハ、商工經濟會法案ニ於キマシテ、商工經濟會ノ會員デアルト云フモノガ取レテ行クト思フ、又運用ノ上ニ於

又商工組合中央金庫法中改正法律案ニ對シニ留意スルトノコトデアリマシタ、扱商工組合中央金庫法中改正法律案ハ、設立當初ハ所屬組合ガ千六百餘デ、貸出残高モ三百餘萬圓デアリマシタガ、昨年末ハ組合數約七千、貸出残高一億圓ヲ突破ノ状況ヲ呈シマシタ、又商工債券ニ付テモ、昨年末發行高ガ約一億一千萬圓ニ達シマシテ、約三千萬圓ノ發行餘力ヲ殘スニ過ギナイ状況トナリマシタ、又今回本法ノ改正ニ依リ、從來ノ組合ヲ改組設立シタル會社ニ對シマシテモ融通スルコトニナリマシタノデ、資本金ヲ千四百萬圓増加シ、政府ヨリ一千萬圓、組合ヨリ四百萬圓ヲ出資セシメムトスル次第デアリマス、故ニ合計三千萬圓ノ資本ニナル譯デアリマス、近時産業整備ノ必要上、組合ヲ改組シ、有限會社、食糧營團等ノ別個ノ形態ニ移行スルモノニ對シマシテモ、貸付ノ繼續ヲ認メルト共ニ、商工組合中央金庫ニ所屬セザル組合、又ハ聯合會ヲ改組シタル會社、其ノ他設立ノ趣旨、組織者等カラ見テ、之ニ準ズベキ會社ニ對シテモ、餘モノデアリマス、是等ガ其ノ主ナ點デゴザイマス、扱質疑ノ焦點ハ、商工經濟會法案ニ於キマシテ、商工經濟會ノ會員デアルト云フモノガ取レテ行クト思フ、又運用ノ上ニ於

スル商工經濟會モ運營サレテ行クト云フコトニ依ッテ、組織及運營兩方面カラ此ノ產業經濟ノ横ノ綜合的ナ連絡ヲ取ツテ行ク故ニ出来テ居ルガ、横ノ連絡ト云フモノニ付未ダ至ラザル所ガアルカラシテ、此ノ商工經濟會ト云フモノヲ其ノ横ノ連絡機關トシテ、連絡ヲ圖リタイト云フ積リデアルト言ハレルガ、理念トシテハ誠ニ結構ナ御考ト思フ、併シ如何ナル具體的方法デ横ノ連絡ヲ取ラル、カ、又量等運營ヲ誤ツタナラバ、農業水產團體ト此ノ商工經濟會トノ間ニ摩擦ガ起ル憂ガアリハシナカト云フコトニ對シマシテ、商工大臣ハ、是ハニ商工經濟會ノ組織ノ問題デアラウト思フ、即チ比較的大キナ産業界ノ事業者ハ、單獨ニ於テ商工經濟會ヲ組織スル、同時ニ其ノ人々ハ商工經濟會ノ關係ニ於テナラウト思フ、即チ比較ノ關係ニ於テ統制會ノ會員ヲシテ居ルノダ、中小企業ノ連中ハ、今回改正セラル、所ノ商工組合其ノ他適當ナル團體組織ニ組織セラレマシテ、一方縱ノ統制會ノ「メンバー」デアルト共ニ、各地方ニ於キマシテハ商工經濟會ノ會員デアルト云フコトニ依ッテ、此ノ間ノ組織上ノ綜合連絡ト云フモノガ取レテ行クト思フ、又運用ノ上ニ於テハ、地方長官ハ地方ノ綜合行政機關ナル故、ソレト表裏一體トナツテ、是ガ活動シテハ、地方行政ト云フモノモ行ハレ、ソレニ協力ノ如キ團體ヲ如何ニ取扱ハル、カ、トノ質問ニ對シマシテ、大臣ハ、是等商工經濟會ノ中央機關ヲ如何ニ整備スベキヤトノ問題ニ關シテハ、既設ノ重要產業團體令ニ依ル居ナイノデアルガ、實際ハ全體ノ連絡機關が出來ルト思フ、中央ニ於テ統制會ノ上部

ノ横ノ連絡機關ガ出來、是等ガ健全ナル發達ヲ遂ゲルヤウナ狀況ニ立到リマスレバ、シマシテ、又今回ノ商工經濟會ヲ結成シタル時、會員數ガドノ位ニナルカトノコトニ關シマシテ、大體大中小ト云フ縣ヲ抜キ出シテ見マスレバ、東京、大阪等ニ於テハ直接南工經濟會ノ會員ニナル者ハ、營業稅三百圓以上ヲ納メル者デ、以下ノ者ハ組合ヲ結成シ、組合ヲ通ジテ會員ニナル、而シテ東京府ニ付テ言ヘバ八千五百餘ト云フ數ガ出ルノデアツテ、是ガ商工經濟會ノ會員ニナル數デアリマス、勿論此ノ數ハ單獨加入、團體加入ノ上シタノデ、總代會ヲ置ク所ハ、愛知、兵庫、福岡等ノ直接會員トナル者ニ付テハ、營業稅ガ百圓以上、北海道等ハ五十圓以上トシタノデ、總代會ヲ置ク所ハ、單獨加入、團體加入ノ數ヲ加ヘ、大體千二百三十以上ノ所ニスル心組デアルトノ表明ガアリマシタ、而シテ初メテノ商工經濟會ガ出來マス時ノ定款ハ、設立委員ガ任命セラレ、其ノ設立委員ガ定款其ノ他ノモノヲ持ヘテ、其ノ内容ニ付認可ヲ受ケテ成立シ、定款モ決ルノデアツテ、是ハ施行規則ニ詳細ヲ規定スルトノコトデアリマシタ、又支部ノ問題ニ關シマシテハ、其ノ箇所ハ大體會頭ニ委セル積リデアル、是ハ最モ地方ノ產業經濟ノ實情ニ曉通シテ居ラル、會頭ニ、一應ノ判断ヲ願フ方ガ實情ニ適スルノデア

リマスママイカ、斯様ナ御答辯ニアリマシタ、又商工經濟會法ノ實施時期ニ關シマシテハ、大體本年ノ六月ノ初メニ施行シ、十月頃迄ニ全部ノモノヲ終リタイト思フ、併シ商工組合ノ方ハ非常ニ數ガ多クナリマスルガ故ニ、十月迄ニハ困難ト思フノデアルカラ、從ツテ過渡的ニハ、從來ノ工業組合或ハ商業組合、同業組合ト云フモノヲ、此ノ商工經濟會ノ會員トシテ置キ、改組ニナツタラ改メテ會員ノ編成替ヲヤル積リデアル、斯ウ云フ御答辯ニアリマシタ、又委員ヨリ、統制經濟ノ圓滑ナル運營ハ、縣「ブロック」ヲ打破スルト云フコトガ要諦デアル、商工省ナリ農林省デ拝ヘタ統制法規ヲ運營スルモノガ、內務省系統ノ官吏ニ依ツテ行ハル、ガ故ニ、ソコニ圓満性ヲ缺クハ自然ノ理デアル、故ニ商工經濟會法案ニシテモ、商工組合法案ニシテモ、此ノ間ノ融合調和ヲドウシテヤルカ、ト云フコトニ關シマシテ、商工大臣、内務大臣ノ言明ヲ求メラレマシタ、是ハ後デ申上ゲマス、又之ニ關聯シマシテ、數縣ヲ合セタル經濟「ブロック」ニシテ、商工行政ノ運用スルト云フコトガ、今日ノ統制經濟ノ運用上、又國家ニ對シ協力ヲ求ムル上ヨリモ、都合ガ好イノデヘナイカトノ質問モ起ツタノデゴザイマス、又同ジク委員中ヨリ、性質ノ異ナル各種ノ組合ガ一緒ニナツテ、其ノ中央會ガウマク運用出來ルヤ否ヤ疑ヲ存スル、從前ノ統制組合ト今回ノ統制組合トハ、用語ハ同一ナルモ、國家意思ノ反映スル程度ハ甚ダシク異ナル、寧ロ重要產業團

體令ハ現在ノ儘ニ活カシテ置キ、從ツテ重要  
資團體トセザル方ガ宜クヘナイカ、トノ質  
問ニ對シマシテ、當局ハ、前段ノ質問ノ中  
央會ハ統制ニハ關與サセナインデアル、唯  
統制ノ爲ノ實務運營等ノ指導ニ任ズルノミ  
デアル、又統制會ノ下部機構ニナツテ居ル工  
業組合ハ現在百六、七十アルガ、是等ハ從前  
ノ體制ノ儘デハ、統制ノ目的ニ合致スル行  
動ヲ十分ニ執レナイ、一元化スル必要ガア  
ルノデアル、又統制會ノ下部機構タル統制  
組合ニ對シテハ、其ノ理事長ヲ統制會ノ會  
長ガ任命シ、而モ理事長ニハ原案執行權ヲ  
サヘ認メアル次第デアルカラ、現狀ト異  
ナル所ハナイ、唯異ナル所ハ經濟行爲ヲ行  
ヒ得ルト云フ點ノミデアル、最終日ノ午前、  
委員ノ要求ニ依リマシテ内務大臣ノ出席ヲ  
求メテ、統制經濟ノ圓滑ナル運營ヲ妨ゲルモ  
ノハ所謂縣「ブロック」ナリ、トノ質問ニ對  
シマシテ、内務大臣ヨリ、物資不圓滑ノ原  
因ハ、府縣「ブロック」ノミニ依ルモノデハ  
ナク、例ヘバ價格トカ、輸送トカノ關係上、  
物資ノ偏在傾向ガ生マレルノデアツテ、中  
央ノ統制經濟計畫ガ周密ヲ加ヘルト共ニ、  
府縣「ブロック」ハ解消シツ、アリト考ヘル、  
徹底的ナ「ブロック」打破ノ爲ミハ、思ヒ切ツタ  
生産增强手段ヲ執ル外ヘナイ、又經濟統制  
成シ難ク、是ハ地方長官ガ綜合運營ノ任ニ

當ルコトヲ以テ適切ト考ヘル、唯目下各府  
ニ支障ナキヲ期シテ居ル、トノ御言明ガゴ  
ザイマシタ、斯クテ二月四日午後ヨリ政府  
ノ協議會ヲ設ケ、中央ノ全國的計畫ニ實現  
當局ノ退席ヲ求メマシテ、委員間ニ於テ忌  
憚ナキ意見ノ交換ヲ行ヒ、懇談ヲ交フル  
コト實ニ二時間ニ及ビマシテ、漸ク結論ニ  
達シ、委員會ヲ再開、質疑ヲ打切り、討論  
ニ入りマシタ、一委員ヨリ、本特別委員會  
ニ付託セラレタル三法案ノ立法ノ趣旨ニ於  
テハ、今日ノ時世ニ於テ必要ト思考スルガ  
故ニ、是等法案ノ制定ニ對シテ賛意ヲ表ス  
ル、併シナガラ法文ヲ通讀シ、又委員諸氏  
ト政府當局トノ質疑應答ニ依リ、法文上不  
備ノ點多々アルヲ感ズルノハ遺憾デアル、  
立法ノ趣旨ハ宜キモ、却テ業界ニ混雜ヲ惹  
起シ、或ハ他種團體即チ農業團體、大政翼  
賛會等ト摩擦ヲ起ス虞ナキヤヲ深ク憂フル、  
政府ハ宜シクソレ等ノ點ニ深甚ナル注意ヲ  
拂ヒ、能ク實績ヲ擧ゲル爲施行規則ノ制定  
其ノ他運用上十分ナル手段ヲ執ラレムコト  
ヲ望ムト述ベラマシタ、又一委員ヨリ、  
其ノ辯論中ニ於テ、商工經濟會ハ地方行政  
機關ト相關聯シ、表裏一體トナツテ統制經  
濟ノ運行ヲ全ウスルガ其ノ趣旨デアルコト  
ヲ、法文竝ニ當局ノ説明ニ於テ之ヲ受クル  
シタルモ、如何ニモ其ノ機構ノ構成ニ於テ、  
其ノ形態ガ不安定デアル、中央ノ指令ハ各  
省ヨリ別々ニ出テ、地方ニ於テ之ヲ受クル  
ハ地方政府廳一ツデアル、故ニ頗ル安定セザル

形態デアル、末端ノ横ノ連絡ノミデハ、統制經濟ハ其ノ所期ノ目的ヲ達成シ得ナイ、宜シク中央ニモ連絡ヲ執ルベキ司令部ヲ作ル必要ガアラウ、故ニ急速ニ中央機關ヲ設ケ、中樞機能發揮ヲ一日モ速カニセラレ、所謂縣「ブロック」ノ訴リヲ受クルコトナク、統制經濟ノ實ヲ擧ゲラレムコトヲ希望シ、付託三法案ニ贊成ノ意ヲ表スト述べラレマシタ、斯クテ商工經濟會法案、商工組合法案、商工組合中央金庫法中改正法律案ヲ一括表決ニ付シマシタル處、滿場一致、三法案ハ原案通り可決スベキモノナリト議決致シマシタ、以上ヲ以テ報告ヲ終リマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 商工經濟會法案ニ付、討論ノ通告ガゴザイマス、御許ヲシマス、子爵大河内輝耕君

〔子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル〕

○子爵大河内輝耕君 本案ニ付キマシテハ、各權威者タル委員ノ方々カラ詳細ナ御質問ガゴザイマシテ、悉ク其ノ要點ニ觸レラレテ居ル、私共之ニ依ツテ非常ニ蒙ヲ啓クコトヲ得テ、無論之ニ付テ彼此申上ゲル餘地ハ毛頭ナイ、敬意ヲ表シテ唯贊成ヲ致スヨリ外ハナイ、併シ其ノ委員會ノ空氣ヲ拜見シテ居ルト、斯ウ云フヤウナ御説モアルヤウニ承ッタ、此ノ商工經濟會法案ノ下ニ一種ノ潮流ガアル、此ノ潮流ト云フモノハ、委員會ノ方ニ承ツタ譯アモナケレバ、委員會ナリ是ガ觸レテ居ル、斯ウ云フコトニ承ツタ、無論私ハ其ノドウ云フ潮流デアルカ、

ノ御方ガドウ云フ風ニ御認メニナッテ仰シ  
ヤツタノカ、ソレモ仰シヤツタコトハ聽キマ  
セヌガ、サウ云フ風ニ我々ニ印象ヲ與ヘラ  
タノカ、ソレハ存ジマセヌ、サウ云フコト  
ヲ説明スル譯デハナイ、併シ私ハ私トシテ  
矢張リ同じ感ジヲ持ツ、或委員會ノ方カラ  
其ノ蒙ヲ啓カレタ、夜中カラマルデ太陽ノ  
光線ニ照ラサレタヤウナ感ガ致シタ、ソレ  
デ私ノ此ノ潮流ニ付キマシテノ感ジヲ述ベ  
テ、サウシテ此ノ法案ノ施行ニ付テ政府ノ  
御参考ニ供シタイト思フ、其ノ根柢タル潮  
流ト云フノハ何デアルカト云フト、私ノ觀  
ル所デハ、是ハ差別ヲ無視シタ平等、詰リ  
惡平等ト云フ思想ガ此ノ法案ノ根柢ニ流レ  
テ居ル、勿論平等觀ト云フモノハ惡イモノ  
デヤナニ、成敗利鈍ヲ顧ミズ單騎敵陣ニ乘  
リ込ムト云フヤウナサウ云フ精神ガナケレ  
バイケナイ、併シ昔カラ色即是空ト申サレ  
テ居ル通り、差別ヲ伴ヘナイ平等ト云フモ  
ノハ非常ナ危険ナモノデアル、ソレデ先達  
テ或席上ニ於キマシテ、或教育ノ大家カラ  
我々ガ意見ヲ伺ツタコトガアル時ニ、其ノ方  
ガ言ハレルノニハ、支那ノ或大會社ニ於キ  
マシテ、或重要ナ地位ニアル人ガ赴任サレ  
ルト云フコトヲ聞イテ非常ニ喜ンデ居タ、  
處ガ其ノ人ガ來ルト間モナク轉ジテシマッ  
タ、又一人ノ重要ナ人ガ、非常ニ重要ナ地  
位ヲ背負ツテ居ツテ、長ク支那ノ其ノ會社ノ  
爲ニ盡サレルト思ツテ居タ處ガ、東京ニ重要  
ナ地位ガ出來タラバ忽チ去ツテシマッテ、ナ  
ニ東京ニ居タツテ支那ノ事ハヤレル、斯ウ云

ノコトヲ言ハレタサウデス、是等へ詰リ社  
會ヲ機械ト見ルカラダ、其ノ方ガ言ハレル  
ノデス、社會ヲ機械ト見ルカラダ、機械ナ  
ラバ部分品ヲ取替ヘタッテチットモ差支ナイ、  
併シ人間社會ハ機械デハナイ、ソコニ差別  
ガアル、人間ノ間ニハ差別ガアル、支那ノ  
事ニ致シマシテモ、甚ダ人ノ事ヲ引イテ惡  
ウゴザイマスガ、我々始終御指導下サル  
坂西閣下ノ如キ、又或ハ水野、阪谷兩子爵  
ノ如キ御方ハ、一朝一夕ニ出來ルモノヂヤナ  
イ、ソレヲデス、斯ウ云フ風ニヒヨイ／＼  
ト取替ヘテシマフト云フノハ其ノ會社ガ取  
替ヘタト云フコトヘ、會社ノ批評ヲ相濟ミ  
マセヌケレドモ、詰リ是ハ社會ヲ機械ト見  
テ、部分品ヲ取替ヘルコトナンゾ何トモ考  
ヘナイ、ドノ部分品ダツテ同ジダ、惡平等ニ  
見レバ此ノ通リナシデアル、デハ此ノ商工  
經濟會法案ニソレガドウ云フ風ニ働イテ來  
テ居ルカ、民意ヲブチ切ッテシマツタコトナ  
ンデス、盛リ上ル民意ハ此處ニ出テ居リマ  
セヌ、詰リ官僚ノ御勝手次第ニドウニデモ  
シナサイト、御役所ニシテシマツタ、東京ニ  
於テハ澁澤子爵、關西ニ於テハ此處ニ御列  
席ノ安宅君、稻畑君、中山君、是等ノ實業  
家ノ權威者ニ依ッテ、此ノ商工會議所ト云フ  
モノハ一種ノ氣風ヲ持ッテ居ル、何人か考  
ヘテモ頭ノ下ルヤウナ一種ノ氣風ヲ持ッテ  
居ツタ、之ヲオ役所ニシテ、今ノヤウニ部分  
品ニ見テシマツテ、今日居テ明日居ナイヤウ  
ナモノニシテ、ドウシテ此ノ商工會議所ガ其  
ノ役目ヲ盡シテ行ケルカ、私が此ノ法案ノ

ドモ、説明ヲ明カニスル爲ニ少シ例ヲ擧ゲハ極メテ惡イ思想デアルト考ヘルノハ、此ノ點デアリマス、少シウルササイヤウデスケレリマセヌデス、社會ヲ機械ト見レバ、彈壓選舉ヲヤツテ、自分ノ好キナ人間バカリ推薦者ニシテ置イテ、サウシテ彈壓ヲ加ヘレバ、思ツタヤウナ議員ガ出テ來マス、機械デアレバコソ蒙ヲ啓クト云フ必要ガアル、國民ニ何デ蒙ヲ啓クト云フ必要ガアル、蒙ト云フノハ要スルニ何モ分ラナイ人ダト斯ウ云フコトニナル、推薦ハ民意ニ適スルナドト言フケレドモ、ドウシテソンナコトガ言ヘルカ、成ル程機械ナラバ、何カ人間ガ加ヘテヤラナケレバ動ケナイ、併シ國民ガ、日本ノ國民ガデス、推薦サレナケレバ選舉ガ出來ナイヤウナ、ソンナ國民トハ思ヘレナイ、是ハ社會ヲ機械ト見ルカラ斯ウ云フコトニナル、都制、府縣制ニ依ツテ自治ヲ破壊シ、戰時刑事特別法ヲ出シテ反對論ヲ封鎖スル、是等ハ皆サウナンデス、一ツニ塗テシマハウトスルカラ、機械ノヤウニシテシマハウトルカラ、斯ウ云フ事ニナッテ來ル、是ダケナラマダ宜ウゴザイマスガ、經濟界ニ於テモ同ジコトナンデス、今迄別ノ立場デ働イテ居タ銀行ヲ一緒ニシテ、ドウシテ是ガ融和シテヤツテ行ケルカ、容易ナ事デヤアリマスマニクツ付ケレバ、ソレデ動イテ行クニ決ヅテ居ル、承レバ、農村ノ土地ノ分合ヲヤルニ

付テ壯年園ヲ使フサウデス、成ル程考ヘテ見  
レバ、土地ト土地ヲ一緒ニシテシマッテ行ケ  
バ宜イコトナンダ、機械ナラ其ノ通リデス、  
ソコヘ持ツテ行ツテ壓力ヲ加ヘレバ宜イカ  
ラ、壯年園ヲ使ツタッテソレデ宜イ、併シ農  
民ノ土地ニ對スル愛著心ト云フモノハ全ク  
無視サレテ居ル、惡イ事ヂヤアリマセヌケ  
レドモ、惡イ事ヂヤアリマセヌケレドモ、  
サウ云ファリ方ト云フコトハ宜クナイ、色  
色ナ價格ノ決定ダッテサウデス、手數料ガ  
アラウガ、運賃ガアラウガ、構ハズ價格ノ  
決定ヲ決メルカラ、今此處テ御話ニナッタヤ  
ウニ物資ガ偏在シテシマフ、總テニ通ジタ  
理論デス、中小商工業ノ整理ダッテサウデ  
ス、是ハドナタカ算術整理ダト仰シヤッタ  
ガ、其ノ通リデス、算術ナラ其ノ通り出テ  
來マス、併シコンナ爲ニ多數ノ者ガ職業ヲ  
失ツテドウシマスカ、ソレハ何トカオヤリニ  
ナラウケレドモ、其ノ間ノ苦痛ト云フモノ  
ハ非常ナモノデス、木ガ要ルカラ山林ヲ伐  
ルノハ宜ウゴザイマス、伐ルノハ宜ウゴザ  
イマスガ、ソレダケシカ考ヘナイ、機械  
ナラ其處ノ部分ダケ直セバ宜インダケレ  
ドモ、社會ハサウヘ行キマセヌ、此ノ爲  
ニ水ガ出タラドウスル、ソンナ事ハチット  
的ニ扱ツテ行クト、總テコソナ事ニナツテ  
來ルノデス、思想團體ニ行キマストモットヒ  
トイデス、自由主義ヤ個人主義ヤ英米思想  
ハ……英米思想デス、英米思想ハ擊滅シテ  
シマヘト云フヤウナコトヲ言ハレルケレド

モ、是ハ平等觀デアル、惡平等觀デアル、  
自由思想ダッテ、個人思想ダッテ、英米ノ思  
想ダッテ、長所ハ採入レテ何ノ差支ガアル  
カ、捕虜ハ虐待シチマヘ敵ガ虐待シテ居  
カラ……ト云フノハ是ハ惡平等、此ノ間  
陸海軍當局ノ言ハレル通り、大國民ノ襟度  
ヲ以テ之ニ接シロ、是ガ差別ヲ伴フ平等ト  
私ハ考ヘル、先達テ少年團ヲ政府へ取上ゲ  
ラレテシマツタ、是ナンゾモサウデス、ソレ  
ハ成ル程機械ナラバ誰ガヤツタテ同ジデセ  
ウ、少年團ハ機械ノ寄リ集リデハナイ、二  
荒伯ヤ、三島子爵ガ心血ヲ注イデ今日ニ持ツ  
テ來タモノデス、之ヲ一月ヤ三月デ變ッテ行  
クヤウナ役人ノ手ニ任セテ、何デソレガ出  
來ルカ、機械的ノ平等觀ト云フノハ此處迄  
來テ居ル、是ガ皆様ノ今委員會ノ方々ガ言  
ハレタソレトハ、同ジヂヤアリマスマイガ、  
私ガ認メテ、一ツノ一貫シタ思想カラ起ツテ  
來タツノ案ダト考ヘテ居リマス、尤モ此  
ノ案ニ付キマシテハ、私ハ彼此申シマセヌ、  
權威者ノ御方ガ十分ニ御研究ニナリマシテ、  
モウ要點ハ盡ス限リハ盡サレテ居リマス、  
ソレデ戰時刑法ヤ都制案ヤ府縣制程ノ政治  
性ヲ帶ビタ案デハゴザイマセヌカラ、必ズ  
ヤ運用ハウマク行クダラウト存ジマスルカ  
ラ、賛成ハ致シマスルガ、擬將來ニ付キマシ  
テ一步ヲ誤レバ容易ナラザルコトニナル、  
拘ヒノ浴衣デ御神輿ヲ擔イデ、何處へ行  
ナラナイトモ限ラナイ、ナツタラ大變、斯ウ

云フコトヲチヨット御注意ヲ申シ述べテ、此ノ法案ニ賛成ヲ申シマス(拍手)

○議長(伯爵松平頼壽君) 他ニ御發言モナケレバ、是ヨリ採決ヲ致シマス、先づ商工經濟會法案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第一讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 本案ノ第一讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認  
メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認  
メマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 次ニ商工組合法  
案、商工組合中央金庫法中改正法律案ノ二  
案ニ付採決ヲ致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ  
開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認  
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第二讀  
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成  
メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動  
議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認  
メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 兩案ノ第二讀會  
ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問  
題ニ供シマス、兩案全部、委員長ノ報告通  
リデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

昭和十八年二月四日

委員長 伯爵溝口直亮

○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 兩案ノ第三讀會ヲ開キマス、兩案全部、第二讀會ノ決議通り

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 日程第十一、帝國鑄業開發株式會社法中改正法律案、日程第十二、重要鑄物增產法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、是等ノ兩案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス、委員長溝口伯爵  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

貴族院議長伯爵松平頼壽殿  
重要鑄物增產法中改正法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及  
報告候也

昭和十八年二月四日

委員長 伯爵溝口直亮

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

〔伯爵溝口直亮君演壇ニ登ル〕

○伯爵溝口直亮君 只今議題ニナリマシタ  
ル所ノ二法案ニ付、委員會ノ經過茲結果ヲ  
御報告申上ゲマス、本委員會ハ前後四回開  
キマシテ、兩案共ニ政府提出原案ノ如ク可  
決スベキモノト決定致シマシタ、只今ヨリ  
委員會ニ於ケル法案ノ説明ノ要旨並ニ質疑  
應答ノ大要ニ付テ御報告申上ゲマス、尙詳  
細ニ付キマシテハ、速記録ニ付テ御承知ヲ  
願ヒマス、提案ニ付キマシテノ説明ハ、大臣  
體ニ於キマシテ、本議場ニ於キマシテノ商  
工大臣ノ御説明ト違ヒゴザイマセヌガ  
〔副議長侯爵佐佐木行忠君議長席ニ著  
ク〕

只今御了解ノ爲ニ要約致シマシテ申上ゲマ  
ス、第一ノ帝國鑄業開發株式會社法中改正  
法律案、是ノ改正ノ要點ハ二點デゴザイマ  
ス、第一ハ、大東亞戰爭ヲ一轉機ト致シマシ  
テ、金鑄業ニ整理ヲ行ヒ、其ノ整理ヲ行ッタ  
ル所ノ資材勞力等々、更ニ重要ナル他ノ鑄物ノ  
帝國鑄業開發株式會社法中改正法律案  
申上ゲマス、第一ハ產金會社ノ整理及補償  
会社法中改正法律案ニ關スル御質疑デアリ  
マス、澤山ゴザイマシタガ、大體要約致シ  
マスルト八點バカリゴザイマス、之ヲ逐次  
申上ゲマス、第一ハ產金會社ノ整理及補償  
会社法中改正法律案ニ關スル御質疑デアリ  
マス、澤山ゴザイマシタガ、大體要約致シ  
マスルト八點バカリゴザイマス、一委員ヨ  
リ、補償ノ順序ハドウ云フ風ニスルカト云  
フ御質問ニ對シテ、政府デヘ、大體ニ於テ  
ニ關スルコトデゴザイマス、ソレカラ次  
ニ産金ノ整理ニ當リマシテ、内地ニ關スル  
限リハ鑄發デ引受ケテ致シマスガ、朝鮮ニ  
關スルコトヘ新タニ朝鮮鑄業振興株式會社

ト云フモノヲ設ケ、是デ整理ヲスルコトニ致シテ居ル、之ニ關シマシテ一委員ヨリ、内地朝鮮共ニ一ツノ會社、デヤッタ方ガ宜クハナイカト云フ御質問ニ對シマシテ、政府ハ、產金事業ノ整理ヲ急速ニスル爲ニハ、ドウモ此ノ内地ト朝鮮ヲ分ケテ整理スル必要ガアル、尙產金ノ事業其ノモノニ付テモ、内地ト朝鮮トニ於テハ事情ノ違フ所ガアルカラシテ、矢張リ二ツノ會社ニ於テ整理スル必要ガアル、ト云フ御答デゴザイマス、次ニ一委員ヨリシテ、鑛山ノ資材、勞務等ニ關シ、只今申上ゲマシタ鑛發ト云フノハ一種ノ國策會社デアルカラシテ、之ニ對シテ特別ニ資材、労力等ヲ配給トカ配分スルヤウナ考ヘガアルカナイカ、ト云フ御質問ニ對シマシテ、政府ハ、是等ニ對シテハ決シテ例外的ニ特別ニ取扱フヤウナコトハナク、總テ鑛山統制會ノ一元的統制ニ依テ仕事ヲスル考ヘデアルト云フ御答デゴザイマス、次ニ一委員ヨリシテ、鐵鑛石ノ增産ニ關シマシテ、積極的ニ鑛發ニ於テ損失ヲ構ハズ貧鑛ニ對シマシテ開發ヲスル必要ガアルト思フガドウデアルカ、ト云フ御質問ニ對シマシテ、政府委員ハ、本件ニ關シテハ未ダ具體的ニ申上ゲルコトハ出來ナイガ、十分研究シヨウト云フ御答デゴザイマス、次ニ重要鑛物ノ中デ、多クノ物ハ只今ノ鑛物ノ原價計算ト云フコトハ略、分ル、デアルカラガナカ／＼思フヤウニ出來ナイ、ソレデアルカラシテ只今ノ機構ヲ十分使ヒマスレバ本件ニ關シテハ朝鮮總督府トモ十分ニ協調シ答デゴザイマシタ、次ニ重要鑛物増産法ニシテ原價計算ヲシテ、サウシテ損失ノ起ルヤウナ物ニ對シマシテハ、鑛發ニ於テ原價計算ニ或利潤ヲ加ヘタ値段ニ買取ッテ、サウシテ鑛發ヨリソレヲ賣ル場合ニ、必要ガアタ所デ、製品ノ代價ニ關シテハ別ニ上ガル必要ノナイモノガ多々アルト云フ御答デゴザイマシタ、斯クノ如クシテドウモ只今ノ原價ノヤリ方デハ増産ガ思フヤウニ出來ナイカラシテ、之ニ關シテ政府ハ考慮シタラドウダ、ト云フ御質問ニ對シマシテ、政府委員ヨリ、本件ハ誠ニ御尤モト思フガ、低物價政策ノ根本義ニモ關係スルコトデアルカラシテ、能ク十分ニ研究シテ見ヨウト云フ御答デゴザイマス、最後ニ朝鮮ニ於ケル金鑛整理ニ關スルコトデ、一委員ヨリシテ、朝鮮ニ於ケル產金事業ト云フモノハ非常ニ重大ナモノデアルカラシテ、之ガ整理ヲスルコトニナッタラ、其ノ影響スル所ハ財政上ニモ或ハ經濟上ニモ、其ノ他諸般ノ點ニ於テ影響スル所ガ實ニ大デアル、之ニ付テ政府ハ十分御考ヘ願ヒタイト云フコトニ付テ御質問ガゴザイマシタ、之ニ對シテ商工大臣ヨリシテ、本件ニ關シテハ朝鮮總督府トモ十分ニ協調シマシテ萬遺憾ナイヤウニ取計ラフ、ト云フ御答デゴザイマシタ、次ニ重要鑛物指定ニ關スル御質問デゴザイマス、之ニ關スルモノハ要約スルト三件デゴザイマス、第一ハ、重要鑛物指定ニ關スルコトデ、鑛物ノ定義

ハ鑛業法ノ第二條ニゴザイマス、更ニ本法ノ第一條ニ、其ノ中カラシテ重要鑛物ノ指定ガシテアリマス、處ガ段々調べマシテ、調査ノ結果、今迄内地及朝鮮等ニ於テ發見出來ナカッタ鑛物ノ發見ガアッタリ、ソレガ又非常ニ此ノ時局ニ對シテ必要ナモノガ出来タリスルノデ、ドウモ之ニ指定スル鑛物ダケデハ足リナクナッテ來タカラ、何トカ政府ニ於テ考ヘナイカト云フコトデ、其ノ一例トシテハ、朝鮮ニ於ケル硼砂ノ例モ引カレマシタ、政府委員ヨリシテ、重要鑛物ノ指定ノ増減ト云フコトハ、根本的ニハ鑛業法ノ第二條ノ規定ヲ變ヘナクチヤナラズ、又本法律案ノ第一條ノ規定モ弄ラナケレバナラナイノデ、今直チニドウスルト云フコトハ出來ナイガ、併シ斯クノ如キ必要ナル鑛物デアッテ、其ノ指定ニ漏レタモノニ對シテハ、行政的ニ出來ルダケレ支ナイヤウニ取扱ッテ行ク積リデアルト云フ御答デゴザイマシタ、ソレカラ次ニ鑛業法ニ關シマシテ、鑛業法ノ制定ハ、既ニ可ナリ古ク、而モ數次ノ改正ヲ經マシタガ、尙且下能ク検討シマスト十分デナイ所ガアルカラ、之ヲ改正スル意思アリヤ否ヤト云フ御質問ガゴザイマシタ、之ニ對シマシテ政府委員ハ、鑛業法ノ改正ハ、慎重ニ考慮スベキモノデアルカラシテ、急速ニ之ヲ實現スルコトハ困難デアル、從ツテ時局上取敢茲本法ヲ改正シテ、其ノ施行期間ヲ五箇年間延長シテ、其ノ間ニ情勢ノ推移ヲ見、慎重審議シテ、鑛業法規全體ニ關シマシテ、重研究審議シテ、鑛業法規全體ニ關シマシテ

テ十分検討シテ見タイト思フ、ト云フ御答  
デゴザイマシタ、其ノ次ニハ最モ御質問  
多カツタ使用權ノ問題デゴザイマス、之ニ關  
第一ハ、使用權ヲ設定スルヨリモ鑛業權ノ  
強制讓渡ヲシタ方ガ宜クハナイカ、ト云フ  
御質問ニ對シマシテ、政府委員ヘ、鑛山ノ  
賣買ト云フコト及ビ鑛業權ノ強制讓渡ト云  
フコトヘ、實行上色々ナル困難ヲ伴ヒ、殊  
ニ價額ノ決定等ニモ暇ガ要シテ、急速ニ之  
ヲ實行スルコトハ困難デアルカラシテ、使  
用權ヲ設定スノデアル、是ト同様ニ、使  
用權ト鑛業權ニ關スル法律關係ハ非常ニ複  
雜デアッテ、一般ニ了解ガ困難デアルカラ、  
寧ロ使用權ヲ設定セズシテ、鑛業權一本デ  
進ンダ方ガ宜クハナイカ、ト云フコトニ關シ  
マシテ、政府委員ヨリ、本件ニ關シマシテ  
ジヤウデ、次ニハ使用料決定ノ標準ハドウ  
云フ風ニシテ決メルカ、ト云フコトニ關シ  
シマシテモ、政府委員ノ答辯ハ、略々前ト同  
ヘ、鑛山統制會ト能ク協議シテ、監督局ニ  
内訓シ、又各監督局ニ於テハ、委員會ノ如  
キモノヲ設ケテ之ニ諮詢シテ適正ナルモノ  
ヲ決定スル考デアル、ソレカラ次ニ鑛業權  
者ト使用權者トノ間ニ於ケル權利義務ニ關  
スル疑義ニ付テノ御質問ガゴザイマシタ、  
本改正法律案ヲ御覽ニナレバ分リマスガ、  
非常ニ是ハ込ミ入ツテ面倒ナヤウデゴザイ  
マス、之ニ對シマシテ、政府委員ヨリシテ、  
大體只今御質問ニナツタヤウナコトハ、稀ナ  
場合ガ多ク、大ナル御心配ハ要シナイ見込



デゴザリマス、次ニ航空法中改正法律案デゴザリマスルコト、新タニ航空機長及び航空通信士、航空機整備士等ヲ航空職員ト致シマス、又飛行場周圍ノ特別區域ヲ、現圖ラムトスルコト、新タニ航空機長及び航空通信士、航空機整備士等ヲ航空職員ト致シマス、又飛行場周圍ノ特別區域ヲ、現在ノ千「メートル」カラ二千「メートル」迄擴張指定シ得ルコトト致シ、又一般ニ航空機ヲ使用シテ營ミマスル事業ヲ許可制ノ下ニ置カムトスルモノデゴザリマスルガ、第三ニ、木船保険法案デゴザリマスルガ、木船建造ノ促進並ニ木船運輸業ノ振興ガ現下緊急ノ要務デアリマスルニ鑑ミマシテ、木船ヲ目的トシマスル海上保険制度ノ完璧ヲ企圖スルモノデゴザリマス本案ニ依リマスル保険制度ノ概要ヘ、第一ニ、其ノ經營狀態ヲ木船主ノ相互保険組合ト致シマス、政府ノ強力ナル監督ニ服セシムトスルト共ニ、之ニ合法的權限ヲ與ヘ、且政府ニ於テ組合ノ事務費ノ一部ヲ補助シ、免稅ノ特典ヲモ與ヘルコト致シ、又第二ニハ、保険ノ目的ヲ原則ト致シマシテ「十」「トン」以上ノ木船トシ、差當リ七十「トン」以上ノモノニ付テハ付保ノ強制ヲ實施セムトスルモノデアル、第三ニ、付保金額ハ保險價額ノ全部トシ、更ニ損害保険國營再保險法ニ依ル特別會計ヲ以テ國營再保險ヲ行ハシメムトスルモノデゴザイマス、是等三件ニ對シマスル質疑ノ主ナルモノヲ是ヨリ御紹介申上ゲマス、前ノ二件ハ餘り質問モゴザイマセヌノデ省略サシテ戴キマシテ、ニ即スルヤウニ現行航空法ノ規定ノ整備ヲ致シマス、又飛行場周圍ノ特別區域ヲ、現

法案ノ中、第十五條第二項ノ勅令ノ内容ニ付テドウ云フコトガ書イテアルカ、ト云フ質問ガゴザイマシタガ、之ニ對シテ政府ヨリ、組合ノ補填スペキ損害ハ全損、救助費、分損、共同海損分擔金、衝突賠償金ノ五ツ、又保險金額ハ、強制保險ノ場合木船ノ場合ニアリマシテハ全部又ハ一部、又保險料率ニ付キマシテハ、保險審査會ニ諮詢致シテ主務大臣ガ之ヲ告示致シマスルガ、大體ハ百圓ニ付平均五圓五、六十錢ヲ豫定シテ居リマス、積荷ノ如何ニ依ル割増金ハ成ルベク取りタクナイ、等ノ説明ガゴザリマシタ、又木船ノ分損査定ハドウスル方トノ質問ニ對シマシテ、分損査定ハムツカシイカラ、或程度以下ノ小サイ損害ハ所有者ヲシテ補填セシムルコトニシタイ、又積荷ハ保險目的ニナラヌヤトノ質問ニ對シマシテ、本法ノ保險ノ目的ハ、船體ダケデアル、其ノ積荷ハ從來ノ損害保險會社ヲシテ行ハシメルコトニ致シテ居ルト云フ答辯デアリマス、又船齡ハ問ハナイノデアルカト云フ質問ニ對シマシテ、船齡ニ依ツテ付保ハセシメナイモノナリトノコトデゴザリマシタ、又產業設備營團ニ依ル新造船、木造船ノ拂下方法拂下價格ハドウ云フ風ニナッテ居ルカ、ト云フ質問ニ對シマシテ、現存ノ業者ニモ讓渡ヲ致シマスルガ、運航能率ヲ擧ゲル見地カラ大キナ専門會社ニ多量ヲ持タセタイ、又讓渡價格ハ別ニ定メマスルガ、建造價格ト讓渡價格トノ間ニ差ガアル場合ニハ、

セラレテ居ルモノノ傭船料ニ付再検討ヲ加ヘ、之ガ適正化ヲ圖リツ、アルケレドモガ、尙此ノ外ニ保険價額ハ讓渡價格デアル旨ノ答辯ガゴザイマシタ、尙政府ハ、單ニ傭船機帆船ノ傭船料ノ公定ニ付テハ目下調査中デアル、又船員ニ對スル國家的優遇ニ付テハ十分考慮シテ居ルト云フ答辯デアリマシタ、又船員優遇ニ付テノ現在ノ處置ハドウナッテ居ルカト云フ質問ニ對シマシテ、日夜ヲ分チマセヌ危險ナ任務遂行ニ努力致シテ居リマス船員ニ對シマシテ、物質的方面ハ勿論、又精神的ノ待遇モ與ヘル諸種ノ方策ヲ實施シテ居リマスルガ、過日ノ閣議デ此ノ點ヲ更ニ審議致シマシテ、五ツノ事項ヲ決定致シマシタ、其ノ第一ハ軍屬トシテノ身分ヲ與ヘ得ルヤウニ致ス、第二ハ論功行賞ヲサセルヤウニスル、第三ニハ殉職者ニ對スル公葬、第四ニハ船員竝ニ家族ニ對スル援護救助ヲ、今度設ケマス船員救護會ヲ通ジテ強化致サウトシテ居ル、第五ニハ町内會、隣保班ヲモ通ジテ遺憾ナク處置ヲ講ゼシメルヤウニ致ス考デアル、其ノ他ノ方法ニ付テモ考究シテ居ルト云フ答辯デゴザイマシタ、更ニ大東亞共榮圈内ノ海上保險關係ニ付テノ質問デアリマス、是ハ我ガ國ノ手ニ十分之ヲ消化スルコトヲ方針トシテ著々實施中デアル、ト云フ答辯デゴザイ

供出トニ付キマシテハ、之ヲ地方長官ノ行政的責任トナシ、優先的ニ確保シテ行クトノコトデゴザイマス、又木船建造ニ關スル既定方針デ満足シテ居ルカ、トノ質問ニ對シマシテ、立地條件ニ依リ、全國ニ少クトモ十數箇所ノ木造船所ヲ作りマシテ、三百「トン」乃至ソレ以上ノ船ノ標準型ヲ設定致シマシテ、重點的ニ速カニ多量ニ造ルヤウニ銳意努力シテ居ルトノ御答辯デゴザイマシタ、以上ノヤウナ質疑ノアリマシタ後、先づ遞信省關係ノ三案ニ付キマシテ質疑ヲ終り、後討論ニ入りマシテ意見ノ開陳ガアリマシタガ、郵便年金法中改正法律案ニ對シマシテハ、一委員カラ、更ニ思ヒ切ッテ其ノ最高額ヲ上ダルベキデアルト云フ御希望モアリ、航空法中改正法律案ニ對シマシテハ、一委員ヨリ、航空機職員ノ資格ヲ作ル上ニハ、之ニ對スル制裁等ニ付テ十分考究シ、立法ノ趣旨ニ副フヤウ努ムベキデアル、トノ御希望モ附加ヘラレ、討論ヲ終リマシテ採決ノ結果、ソレドヽ異議ナク原案ヲ可決致シマシタ、次ニ鐵道省關係ノ自動車交通事業法中改正法律案ニ付テ申上ダマス、本改正法律案ハ、戰力增强ノ爲ニ特ニ大都市中心ノ近距離輸送ノ充實ヲ目的ト致シマシテ、貨物自動車運送事業ノ統一的且綜合的ナル統制運營ヲ圖ラムトスルモノデゴザイマス、其ノ爲ニ貨物自動車運送トトル共ニ、業務ニ對スル補助ノ範圍

ヲ擴大シ、又自動車運送事業ノ總力ヲ最モ  
有效ニ發揮セシメル爲ニ、組合及ビ聯合會  
ヲ改組シテ、會長及ビ理事長ノ統制權限ヲ  
強化スル等ノ方法ヲ採ラムトスル改正デゴ  
ザイマス、此ノ案ニ對スル各委員ノ質問  
主ナルモノヲ申上ゲマスト、一委員ヨリ、  
先ヅ此ノ問題ヘ寧ロ自動車其ノ他車輛ノ新  
造ヲ促進スルコトド思フガ、政府ノ所信  
ハ如何デアルカ、新車ノ補充ハ時局下極メ  
テ困難デアルガ、將來時局重要產業ノ一つ  
ニ加ヘラレルヤウ努メルト共ニ、差當リ現  
有車輛ノ效率ヲ上ガルコトニ努メタイトノ  
御答デゴザイマス、又陸運ノ負擔力ハ十分現  
下ノ要請ニ堪ヘ得ルカドウカ、ト云フ質問  
ニ對シマシテ、事變後輸送量ガ特ニ増加シ、  
今回更ニ海運貨物ガ轉嫁シテ參ッテ、其ノ對  
策ハ容易デハナイガ、極力施設ノ萬全ヲ期  
シテ居ルトノ答辯デアリマシタ、其ノ他各  
委員カラ、地方長官ヘノ職權委任ノ範圍、  
又車輛偏在是正ノ爲ノ對策、貨物自動車實  
効率低下ノ理由、又組合改組ノ根本理由  
ナドニ關シマスル質疑ガアリマシタガ、細  
カクナリマスノデ速記録ニ譲リタイト思ヒ  
マス、續イテ討論ニ入リマシテ、賛成意見  
ノ開陳ガゴザイマシテ、採決ノ結果、全會  
一致可決致シタ次第デゴザイマス、右ヲ以  
テ御報告ヲ終リマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 別ニ御發言  
モナケレバ、四案ノ採決ヲ致シマス、四案  
ノ第二讀會ヲ開キコトニ御異議ゴザイマセ  
スカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 四案ノ第三  
讀會ヲ開キマス、四案全部、第一讀會ノ決  
議通リデ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイ  
ト認メマス

○子爵植村家治君 贊成

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵  
ノ動議ニ御異議ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイ  
ト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 四案ノ第二  
讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部  
ヲ問題ニ供シマス、四案全部、委員長ノ報  
告通りデ御異議ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイ  
ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第二讀  
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵  
ノ動議ニ御異議ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイ  
ト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 四案ノ第三  
讀會ヲ開キマス、四案全部、第一讀會ノ決  
議通リデ御異議ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

